

7 月 15 日 : VN 指数は終盤にかけて下落 (VN-Index -0.07%)

- VN 指数は上昇して今週の取引を開始し、約 1 時間は上昇が続いた。
- しかし、その後は取引終了まで下落基調となった。主に、トランプ前大統領の再任を睨んだドル高警戒や、本日発表された中国の第 2 四半期 GDP が予想を下回ったことなどが嫌気された。
- ただ、1,275pt 付近では強い買い戻しの動きも確認された。
- セクター別では、メディア、石油ガス、ヘルスケアなどが全体を下支えした。
- 167 銘柄が上昇、262 銘柄が下落、86 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 6.6% 下落し、14.2 兆ドンとなった。

VN30 指数は市場全体の重しに (VN-30 -0.31%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇し、16 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずであった。
- VRE (-1.93%) を筆頭に、VHM (-1.30%) や VIC (-0.96%) といったビングループ関連銘柄の売りが目立った。
- その一方で、PLX (+3.67%) や BCM (+3.38%)、VJC (+2.16%) などが指数を支えた。

セクター・個別株の動き

- ビングループ傘下のビンファストは 12 日、米国の工場稼働開始を 2028 年に先送りすることを発表。マクロ的な逆風を念頭に置き、慎重な事業計画に改めた。
- PC1 (+3.25%) の関連会社、Western Pacific による工業団地プロジェクト 2 件が承認された。総投資額は 4 兆 5,000 億ドン、規模は合計 357 ヘクタール。
- 外国人投資家は 1 兆 6,745 億ドンの売り越しとなった。買い越しでは TNH (+1.43%) が目立った。売り越しでは HDB (+1.04%) や STB (0.00%) などが目立った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。